オンリーワン®
フロアブル

幅広い殺菌スペクトラムで
落葉果樹・茶・ネギ、ニンニク
などの**主要病害**に
高い効果を発揮します！

ものを言うこの1本

製品情報はこちら

®オンリーワンはバイエルグループの登録商標

オンリーワン® フロアブル

農林水産省登録：第20873号
有効成分：テブコナゾール……20.0%　殺菌剤分類 3
毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

適用病害および使用方法

2023年9月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量(ℓ)	使用時期*	使用方法	使用回数* 本剤	使用回数* テブコナゾール
りんご	モニリア病 斑点落葉病 黒点病 うどんこ病 褐斑病 灰色かび病 赤星病	2,000	200～700	7日	散布	3回	3回
	黒星病	2,000～4,000					
なし	赤星病 黒星病			前日			
	輪紋病 黒斑病 うどんこ病	2,000					
おうとう	灰星病 炭疽病 黒斑病 褐色せん孔病						
もも ネクタリン	灰星病 ホモプシス腐敗病 黒星病 うどんこ病 炭疽病						
うめ	黒星病 すす斑病 灰星病						
小粒核果類(うめを除く)	黒星病 灰星病						
ぶどう	晩腐病 黒とう病 さび病 灰色かび病 うどんこ病 すす点病 褐斑病 白腐病						
かき	灰色かび病						
	炭疽病 うどんこ病 落葉病	2,000～3,000					
かき(葉)		3,000		21日			
いちじく	株枯病	2,000	5～10ℓ/樹	生育期ただし、前日	灌注		
茶	新梢枯死症 網もち病		200～400	7日	散布	2回	2回
	炭疽病 もち病 褐色円星病	2,000～3,000					

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量(ℓ)	使用時期*	使用方法	使用回数* 本剤	使用回数* テブコナゾール
わけぎ あさつき	さび病 黒斑病	1,000	150～300	14日	散布	3回	3回
ねぎ		8	1.6		無人航空機による散布		
		16	2.4～3.2				
たまねぎ	灰色腐敗病 灰色かび病	1,000	150～300	前日	散布		
		8	1.2～2		無人航空機による散布		
		16	2.4～4				
キャベツ	菌核病	1,000～2,000	100～300		散布		
にら(花茎)	さび病						
にら				14日			
にんにく	さび病 葉枯病 白斑葉枯病 黄斑病	1,000		7日			
		8	0.8～2.4		無人航空機による散布		
		16	1.6～4.8				
しょうが	白星病	2,000	100～300	3日	散布		
		32	3.2		無人航空機による散布		
		50	3.2～6.5				
		100	5～13				
やまのいも やまのいも(むかご)	炭疽病 葉渋病	1,000	100～300	7日	散布		
		16	1.6～3.2		無人航空機による散布		
		32	3.2～6.4				
ホップ	うどんこ病	1,000	200～700	14日	散布		
しそ	さび病	4,000	150～300	21日		2回	2回
未成熟そらまめ			100～300	前日			
りんどう	葉枯病 花腐菌核病	2,000	200～300	発病初期		5回	5回
ゆり	乾腐病	50	—	植付前または貯蔵前	1分間球根浸漬	1回	1回
チューリップ	球根腐敗病			植付前	15分間球根浸漬		

*印は収穫物の残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項（一部抜粋）

●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきって下さい。
●本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
●りんごのモニリア病に対して使用する場合、葉腐れの初期病斑発現直後に散布して、実腐れの発生を予防する目的で使用して下さい。
●本剤は茶の新梢枯死症に対して、その他の病害との同時防除に使用できるが、多発が予想される場合には効果が劣る場合があるので注意して下さい。
●はくさい、だいこんに対して薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないよう注意して下さい。
●使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態および使用方法に合わせ調節して下さい。
●いちじくに使用する場合、生育抑制などの薬害のおそれがあるので、ポット栽培などの根域が抑制される栽培条件や、移植一年目の幼木での使用はさけて下さい。
●キャベツに使用する場合、重複散布をさけて下さい。
●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守って下さい。
○散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。
○散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。
○散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
○散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意して下さい。
○水源池、飲料用水等に本剤が飛散・流入しないように十分注意して下さい。
○散布終了後は次の項目を守って下さい。
・使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄して下さい。
・機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理して下さい。
○ねぎに使用する場合は、葉面に薬液による汚れが生じるおそれがあるので注意して下さい。
○蚕に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する桑葉にかからないようにして下さい。
●本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意して下さい。特に適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
●浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
●本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
●使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。　●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。　●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 https://cropscience.bayer.jp/
お客様相談室 0120-575-078 9:00～12:00,13:00～17:00 土日祝日および会社休日を除く

F-2034 23.09.NY